

平成25年度
2014年

学校だより

3月15日

第42号

ヒューストン日本語補習校

祝 証書授与式

本日、幼稚部卒園、小学部卒業、中学部卒業、高等部修了の証書授与式が挙行され、幼稚部40名、小学部26名、中学部17名、高等部3名の園児・児童生徒一人ひとりに、学校長より証書が手渡されました。

卒園証書授与式
卒業証書授与式 (含 高等部修了証書授与)
山岡校長退任式
25年度修了式 (含 離任式)

退任挨拶

山岡清孝校長 : この度2年間の任期を満了して帰国する事になりました。在職中、保護者の皆様をはじめ総領事館、商工会、運営委員会他各種団体の皆様方には陰に陽に大変お世話になり、学校運営にご理解とお力添えをいただきました。

前任校長から「世界一の補習校に」という申し継ぎを受けた私は、微力ながら教育課程の充実は勿論のこと、先生方の授業力向上や学校運営の組織化そして、諸手続き等保護者の皆様にとって都合がよくなるようにと心掛けてまいりました。

2年間で子ども達にとって『学びたい学校』に、保護者の皆さんにとっては『学ばせたい学校』に、そして将来『学んで良かった学校』になるように、という目指す学校像に近づけたかどうか定かではありませんが、日々の研鑽に裏打ちされた先生方の授業で、園児・児童生徒の力は確実に高まっていることは事実です。

2年間のご支援に感謝申し上げます、本校が益々充実し発展することを祈念し、退任挨拶と致します。ありがとうございました。

2年C組担任 : このたび、ヒューストン日本語補習校教員を退職することになりました名生有公子です。

何とか、ここまで続けて来られましたのは、すべての補習校関係者のみなさま、そして関わって頂いた保護者のみなさまのお力と忍耐、そしてやさしさのお陰だと感謝しております。簡単な12年では有りませんでした、児童、生徒たちの存在にも励まされ、その成長を応援する役目がいつしかこちらが成長させてもらっていた12年でした。貴重な時間を過ごさせて頂き、本当に有難うございました。

教員として役目は退きますが、保護者としてはまだまだ存続させて頂きます。引き続き、周辺にてお目にかかることになるとと思います。あらためましてどうぞこれからもよろしくお願ひ申し上げます。

祝卒業 宇宙からのビデオレター

卒業生の皆さん、保護者の皆さん、本日は本当におめでとうございます。国際宇宙ステーションから、JAXAの若田光一です。



これから小学部中学部高等部そして大学へと次のステップに進んでいく皆さん、現地校での勉強に加え補習校の宿題もたくさん出て大変だったと思いますが、みんなよく頑張りましたね。

苦労して身に付けたことは、将来必ず皆さんの人生の糧となります。補習校で頑張って勉強したことは、皆さんを地球人として大きく成長させてくれたと思います。これからも補習校で学んだ事、経験した事、補習校で得た多くの素晴らしい友人を大切にしてお過ごしください。

皆さんは、一人ひとりが誰にも負けないような輝く素晴らしい力を持っています。自分の得意なこと、強く興味を持っていることをとおして、世界の多くの人たちの役に立つことを見つけてください。皆さんが世界の舞台で活躍する姿を見ることを楽しみにしています。

あらためまして、卒園卒業おめでとうございます。また補習校でお会いしましょう。

1年B組担任 高橋知未 : この一年間はあっという間に終わりました。今振り返ってみて、昨年の4月の入学式がまだ記憶に新しいです。そのとき、1年B組の児童はどんな子供たちだろうと期待がいっぱいでした。子供たちといろいろな工作をしたり、リコーダーの練習をしたり、遊んだりして、たくさん思い出を作り、本当に楽しく過ごしました。ありがとう！

また、いつもご支援を頂いている保護者の皆様、何でも優しく教えてくださる先生方々に感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました！

高等部数学年間講師 伊藤浩二 : 昨年度は中学理科、今年度は高校数学ⅡとⅢを担当しました伊藤です。会社勤務の都合で今年度三月をもって退任することになりました。

将来を担う世代の生徒の皆さんの活気に接し、いろいろ教えられた二年間でした。これから補習校を卒業する生徒の皆さん、来年も補習校で勉強を続ける生徒の皆さん、今後ますますの努力と活躍を期待しています。



男子9人女子15人のクラスです。

担任の樽谷先生はとても明るくて楽しい先生で、そのためかクラスの皆も明るく個性的です。授業中はまじめに取り組み、休み時間は楽し

くお話をします。特に女子はよく集まって、ジャニーズの話やアニメの話をしてます。中学一年生も残りわずかですが、一緒に最後まで楽しくやって行きたいです。前田 ありさ

僕たち私たちの一日はおはようで始まる。僕たちのクラスはいつも賑やかだ。朝、叫んでる人、宿題をやっている人、鬼ごっこをしている人、寝ている人までいる。僕たちはそういう平和にくらす日常を楽しんでいる。

そんな僕たちでも、さすがにテストの時は必死だ。頑張っても良い点が取れないと言うやつは多々いるが、こんなことは言い訳にはならない。人間は生まれつき頭の良い人などいない、努力の違いなのだと言いつつも言う。この言葉を聞き、皆勉強に励みますが、3日もしない内に勉強しない小僧となってしまう。このことを僕たちは「短時間変化小僧現象」と呼んでいる。

これに立ち向かい頑張ってくれているのが数学と歴史担当の樽谷先生だ。細かいところまで採点してくれるやる気満々の先生だ。そのお蔭でこっちもやる気が心の底から湧き出してくる。

理科になると皆覚醒する。この45分間だけ時が小学校へと遡る。実験をするのが楽しみなのだ。だが実験がないと皆テンションが下がってしまう。すると皆、腹を空かせ喚きだすのだ。

このように時が過ぎて行き、いつの間にか皆日本に帰っている。この悲しみを心にしまい日々を大切に過ごしている。

大熊一矢・作 古川雅喜・助手 <担任：樽谷明日香>

◆パトロール当番予定表 4月5日◆

これは4月当番一覧表に記載された予定です。変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小2	15	田中 晃陽
		18	イーグルン快琉
		21	中尾 健人
		22	ミュージアスチャールズコーディ
		23	リービー ジェイク
		24	大塚 誠
		25	高木 珠季
★PM1リーダー	小2	26	高橋 歩華
		27	畠中 琳菜
		28	中瀬 カリナ
		30	水野 太雅
		31	鶴田 賢祐
		32	吉仲 優樹
		33	大木 香那

先生方の投稿 ⑨

「言葉」その2 高等部担任 河島 通子

幼稚園から呼び出しがかかって、あなたの子供はデベロップが遅いから問題があると言われて困っていた親を昔、何人か見ました。家庭では母国語、幼稚園では英語環境です。けれど、彼らも幼児期から小学校低学年の間アメリカに住んで英語をマスターし、小学校中頃からメキメキと頭角を現してやがてアメリカの社会人になります。

駐在員の子弟の場合は、日本に戻って行くと日本語環境になりますから、英語の読み書きが全く出来なくなる例もあります。もともと日本語教育を受けてから、英語社会で生きた人の場合は、高齢になるとアメリカにいても、日本語と日本食が口に合うようになるらしいです。

日系人の多くは、教育を受けアメリカ社会で活躍をしていますが、日系人社会は、第2次世界大戦前後をはさんで苦しんだし学ぶ事も多かったらうと思います。日系人の日本語を基準にして見てみると、アメリカには色んな日本人が暮らしているのだなと思います。日系人社会とアメリカ社会の両方に仕事を持って生きて、壊れていない日本語を話せる人もいます。そういう美しい日本語を聴くと心がほっとします。

親が自分に口うつしで教えた言葉は Heritage 相続財産だと思います。方言は地方の暮らしの中に生きている言葉ですから最も重要な Heritage 相続財産です。

突然魔が差したように自殺をする子供や青年たち。親や関係者は、何故なのかどうしてなのか解らないと言います。自分が社会と繋がっていて、自分が生きている事に意義があると認めるためには、親からの口移しの文化相続をしていただらいいのかも知れません。

教育を一本化して教育方針があるのも一つですが、時には小さな地域の家庭学校で進歩的な親たちが子供の教育をしているように、子供が育つ環境で人間を作って行く事が良いと思います。出来ることならば寺小屋式にもっと特別才能教育をしたら良いと思います。言葉という観点から、いろんなことを考えました。

学籍

転出 中1：奥原咲月

在籍数 (3月15日現在) 382名
幼40名 小249名 中66名 高28名

Japanese Language Supplementary School of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795(事務局 火~金曜日)

Tel.Fax 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org

(文責 : 校長 山岡 清孝)